

共産党県議団らが求めた

# 福祉施設などの電気代助成が実現

## 光熱費など値上げで大変

日本共産党大分県議団と日本共産党大分県委員会  
は7月29日に、新型コロナウイルスの感染拡大防止や生活防  
衛のための施策を求める要望書を大分県知事あてに  
提出。その際、光熱費をはじめ物価高騰で厳しい状  
況にある中小業者や県民の実態を訴え、支援策を求  
めました。

## 値上がり分の2分の1を助成

その後、9月議会で可決された補正予算で福祉施  
設などへの電気代の助成が実現しました。

値上がり分の2分の1を助成するための予算約1  
億6230万円を可決。対象となる施設は、高齢  
者・障がい者施設、保育所・私立幼稚園・地域子育  
て拠点施設・放課後児童クラブなどの保育施設、病  
院・診療所・薬局・訪問看護ステーション・あま  
針灸施設、児童養護施設・子ども食堂・私立学校な  
ど1万1000ヶ所以上です。

事業者のエコエネルギーへの転換を促すため、太陽  
光発電と蓄電池を組み合わせた設備などの導入に4  
分の3（限度額1千万円）を補助する予算4億12  
50万円も併せて可決されました。

## お困りごとなどお気軽に

物価高騰・値上げラッシュで営業や暮らしはま  
すます厳しさを増しています。お困りごとなど、  
お気軽にご相談ください。えんど久子のホームペー  
ジ「はっぴーえんどどっとねっと」からアンケー  
トに声をお寄せください。みなさんの声を届けて  
今後ともがんばります。



日本共産党 県政ニュース

発行 日本共産党大分県議団  
大分県議会議員 えんど久子

TEL・Fax 097-537-2344

No.63

2022. 11. 8

えんど久子県議 共産党市議や団体と一緒に

# 願い実現に向け大分県と協議

毎年この時期に行う日本共産党大分地方議員団としての大分県予算協議を10月26日に行いました。179項目の要望を2会場で10時から16時まで行いました。地域から寄せられた河川や道路改修、コロナ対策の支援拡充や教育条件整備など多岐にわたる内容で協議。今後の議会活動にも活かしていきます。

## 制度を知らずに深刻なケースも

えんど久子県議が実施中のアンケートに「物価高で大変」という回答が97・2%です。

えんど久子県議は「私はこれまでも求めてきたが、コロナ禍の支援制度等をテレビCMなども活用し幅広くお知らせすべきだ。支援制度を知らない上に生活保護への抵抗感もあり、深刻な事態に陥った方から相談を受けた。支援制度や生活保護を遠慮なく活用するようにメッセージを発するべきだ。生活保護を受けるのは国民の権利だと東京都等はホームページに明記しているが、大分県も明記すべきだ」と求めました。



## ポスター等でお知らせを

大谷敏彰日田市議は、「日田市に市議会で求め、日田市のホームページには小さいながら生活保護は権利だと明記している。えんど県議が求めているのになぜしないのか」と迫るなど、みんなで求めました。県の担当者は答えられません。「しない理由がないならやりましょうよ。スーパーマーケットに相談窓口をお知らせするポスターを貼るなども有効ではないか」と、えんど久子県議。

## 出来ることから考えたいと答弁

これに対し「ホームページに載せることはすぐできるのではないか。できることから考えていきたい」と担当者。

制度を知らずに利用できるできないことのないように、また、生活保護への抵抗感をなくしていくように、今後ともみなさんと共にがんばります。

